

# あさご農業委員会だより

## 力強い農業をつくる

### かけ橋に

朝来市農業委員会  
会長 石原 武美



朝来市農業委員会は、農業委員14名、農地利用最適化推進委員13名、事務局職員と共に「農地法に基づく、農地の売買・貸借の許可、非農地判定」、「農地転用案件等への意見具申」、「農地の利用最適化推進」すなわち「担い手への農地の集積・集約化」、「遊休農地の調査・発生防止と解消」、「新規参入の促進による農地等の利用効率化、及び高度化の促進」、そして「地域計画の策定推進」を基本として、農業に関する多岐にわたる活動を進めています。毎月、約10〜20件の農地の権利移動・

転用、非農地判定の許可申請を受け、月初めに現地調査、中旬には全体総会による審議、農地案件等の意見具申のまとめ、総会後には、3つ（農政・農地・広報研修）の専門委員会を開催し、課題について協議・検討しています。



のなかでは「地区の実情がよくわかった」「課題や方向性が理解できた」「維持していく、守るべき農地が明確になった」「自分が耕作を止めても、守ってくれる人が見えた」「補助金等を有効活用し、農業の活性化が図れそうだ」「5年後ぐらいに見直したい」等、多くの意見が出ており、「計画の策定作業は大変だったけど、携わってはじめて自分たちの地域の状況が理解できた」と喜ばれています。しかし、「地域計画」をただの計画だけに終わらせないよう必要な見直しを行いながら「力強い農業・

発行  
朝来市農業委員会  
令和7年3月  
TEL.079-672-2833  
(直通)

地域社会づくり」を実践していくことが大切です。私たち農業委員・推進委員は、いつも申し上げていますが、「農業・農地を守ることは、日本人の食生活、地域の自然・環境、農業を基本とした昔からの人々の文化・地域生活を守ることにつながる」とを意識し、力強い農業をつくるかけ橋として取り組みます。

朝来市農業委員会の石原武美会長が、「長期勤続農業委員表彰」を受賞されました。



石原会長は、平成20年7月から農業委員として、令和2年7月から現在まで農業委員会会長として努められ、16年以上の長きにわたり農業委員会活動に尽力されています。

### 農業委員会のしごと

#### 農業委員会とは？

農業委員会は、「農業委員」と「農地利用最適化推進委員」で構成されています。朝来市農業委員会では、幅広い知識と豊かな経験を有する農業委員14名と13名の農地利用最適化推進委員が職務に就き、任期は3年です。朝来市を13の地区に区切り、それぞれに担当する農業委員と農地利用最適化推進委員が決まっています。

#### 3条申請とは？

自分が所有する農地の権利を、他の人に譲渡したり貸与したりする場合に行う申請です。自分の土地を誰に譲るかは自由だと思われがちですが、農地を譲る場合は、周辺の農地に影

#### 4条申請とは？

自分が所有する農地に自身の住宅や車庫を建設するために地目を変更する場合に行う申請です。農地の所有者であっても勝手に農地を宅地等にすることは禁止されており、兵庫県

#### 5条申請とは？

農地の所有権移転と宅地等への地目変更を同時に行う場合の申請です。4条同様、兵庫県の許可を受けなければならない理由や、転用が確実に実行される資力があるか、計画が無理のないものか等の意見を添えて兵庫県へ提出します。

#### 農地利用最適化推進委員のしごと

農地利用最適化推進委員は、担当地区の農地をこまめに回り、利用状況や管理状況などの把握を行っています。また、各種申請案件農地の現場確認も農業委員とともに進めています。

非農地証明とは？  
所有する農地が長年農地の様相を呈していない場合、登記地目を現状に合致するよう手続きするために必要な申請です。本来は、転用の許可を受け、やむを得ない事情があり、現状長年農地として使用されていない場合などに認められます。この他にも農地パトロールや農地に関する相談なども仕事になります。

毎年夏ごろに行われる農地パトロールにも同行し、市内の農地の状況について把握を行っています。毎月開催される農業委員会総会にも出席し、必要に応じて意見を発言します。その他、地域計画策定に関することや農地利用に関する相談事にも対応しています。農地の耕作者が見つかからないなど、どんなことでも構いませんので、お気軽に地元の農地利用最適化推進委員にご相談ください。

総会での審議件数	審議内容	月							計
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
農地法第3条	農地の売買・貸借	7	4	5	10	6	4	10	46
農地法第4条	農地の自己転用	1							1
農地法第5条	農地の転用売買・貸借	1	2	1	3		2	3	12
	非農地証明申請	3	2	2	2	2		3	14
	農業経営基盤強化促進法による農地の貸借	16	13	19	3	3	7	29	90

# 農産物直売所紹介③

## 道の駅フレッシュあさご

駅長  
(株)フレッシュあさご  
代表取締役 池野 雅視

道の駅フレッシュあさごは、2000年(平成12年)5月27日に播但連絡道路、生野北ランプと和田山JCTまでの延伸開通に伴い営業開始しました。有料道路のサービスエリアとして計画検討し、市内2件目の「道の駅」として国土交通省に申請し、一般道からのアクセスも可能な全国的にも珍しい施設として親しまれてきました。計画のスタートは1996年(平成8年)で、朝来町内にプロジェクト



下り側から

トを設置。特産品開発、事業内容、施設建設等検討を重ねました。1998年(平成10年)、公募によるコンペにて選ばれた案を採用決定、専門コンサルによるシミュレーションを作成し、最終的な内容を絞り込みました。その後、朝来町(現在は朝来市)、商工会、金融機関、地元企業より出資を受け開業に至りました。播但連絡道路、朝来サービスエリア内の道の駅としての認証は、有料道路にある道の駅という、オーブン当初全国的に珍しいケースとされ、大きな注目を浴びることとなりました。朝来市は京阪神及び播州地方から1.2時間程度のドライブ

で、水や緑の豊かな自然が満喫できる。ふるさと「的位置づけにあります。そして山や川の幸が手軽に手に入るという利点があります。観光団体及び個人客にとって通過点であったとしても、朝来の風土や特産品を前面に出し、目的の地へとつとして「また来たい!」と思ってもらえる温かいもてなしの心を表現したいと考えています。また、都市圏から但馬への玄関口に位置していることから、道の駅としての休憩機能と都市と地域の情報発信機能、地域活性化の連携機能を果たしていきたいと考えます。以上の事柄をふまえ、朝来や但馬の魅力や、愛着をより深めていただける施設運営を目指します。

道の駅フレッシュあさごのセールスポイントと致しまして、バリアフリーで使いやすい。8mの吹き抜け天井、ガラス張りで清潔感あふれる施設内で、品ぞろえ豊富な売店、早く、安くおいしい、地域の特産を手軽に味わえるレストランを営業し、多種多様なパンフレットを備え付け但馬中の情報を網羅し、海、山、カニ、温泉、スキーなどタイムリーかつ充実した案内を心がけております。都市と地域の交流施設として朝来市のPRを行い、農家との連携による地元の新鮮な農産物直売にも力を入れていきます。

当初の農産物直売コーナーはテナントでの販売を行っておりましたが、2011年(平成23年)に改築し、現在の建物で販売を行えるようになりしました。2025年(令和7年)で会社創立から27年目を迎えることとなり、農家登録は朝来・生野地域を中心に累計



上り側から

で500件を超え、地域の皆さまに愛される直売所として、朝来の四季の家庭用野菜から但馬一円のこだわり野菜、そしてあさご自慢の「岩津ねぎ」や「丹波黒豆」など但馬を訪問するビジネス客、観光客の皆さんに喜んでいただける施設運営を心掛けてきました。

また、2024年(令和6年)10月より朝来地域でもデマンド交通が導入され、一般道側に停留所が設置されました。今後はデマンド交通を利用して、お食事やお買い物を楽しんでいただくことができ、車いすでのご利用は南側の扉を開けますので、お気軽にお問い合わせください。

毎年6月中旬には「創業祭」を実施し、朝来地域の伝統野菜である「岩津ねぎ」を中心に、黒枝豆、夏野菜、春の山菜な

レストランではステキを格安で提供したり、売店ではセール品をご用意し、地域の方々にも多く来ていただけるよう、全市に新聞折り込みを入れていきます。神子畑選鉱場跡、あさご芸術の森美術館、竹田城跡、白井大町藤公園へお越しのお客様が、帰りに播但連絡道路を使うとき、食事やお土産を買う際にはよく立ち寄り、高く評価されています。ぜひ皆さまもフレッシュあさごにお立ち寄りいただき、また出荷者として朝来市を盛り上げて頂きたいと思っております。



直売所入り口

商品について  
特に岩津ねぎは、フレッシュあさごが岩津96番地にあることから、ここまで買いに来ると仰るお客様が多数いらっしゃいます。また、冬場のカニや温泉のバスツアーでは、入荷状況についてバスガイドや添乗員様からお問い合わせ頂くことがあり、車内で美味しさにについて語って頂けるよう、バスを降りたら一直線に直売コーナーの岩津ねぎを目掛けて小走りされるお客様もいらっしゃいます。

出荷者募集中!  
道の駅フレッシュあさごでは、農産物を出荷いただける方を広く募集しています。特に「岩津ねぎ」は連休や年末年始には品切れになる時間もあるなど、来訪いただいた方に朝来市の魅力を伝えるには最も良い素材であり、「農家の伝統芸術品」であると言っても過言ではないでしょう。また、黒枝豆などもお客様から高く評価されています。ぜひ、スタッフにお問い合わせください。

商品について  
朝来地域の伝統野菜である「岩津ねぎ」を中心に、黒枝豆、夏野菜、春の山菜な



岩津ねぎの販売

委員会だよりの読者の中には発行日近くの話題を期待される方もあるかと思いますが、年2回の発行ですのでご期待に添えないことが多々あるかと思えます。今回は新年でもなく新年度でもありませんので内容は普段着になっていきます。昨今パワハラ、セクハラ、カスハラなどの話題が多く出ています。発展途上国ならまだしも遅ればせながらやつと日本も取組に本気度を感じます。これから法律立案、会社の内規など長い歴史の始まりです。落ち着く先はわかりませんが誰かが住みやすい世の中になってもらいたいのは総意だと思えます。

地域計画も続々提出されています。また、道の駅は前回の委員会だよりを参考に頑張ってください。委員会では日々原稿作成に奮闘しています。お知らせしたい話題があればご一報ください。お待ちしております。

編集後記  
委員会だよりの読者の中には発行日近くの話題を期待される方もあるかと思いますが、年2回の発行ですのでご期待に添えないことが多々あるかと思えます。今回は新年でもなく新年度でもありませんので内容は普段着になっていきます。昨今パワハラ、セクハラ、カスハラなどの話題が多く出ています。発展途上国ならまだしも遅ればせながらやつと日本も取組に本気度を感じます。これから法律立案、会社の内規など長い歴史の始まりです。落ち着く先はわかりませんが誰かが住みやすい世の中になってもらいたいのは総意だと思えます。



(大田垣)